

## 9月例会「残暑・秋の虫おもしろ探検」報告書

- とき 令和6年9月29日(日) 午前10時～正午
- ところ 立田山憩の森 お祭り広場 (集合・解散)
- コース お祭り広場
- 指導員 清田、中間、益田、倉光、佐藤、藤井(景)
- 参加者 22家族、54名
- 観察種 (昆虫31種) マユタテアカネ、ウスバキトンボ、ハラビロカマキリ、オオカマキリ、コカマキリ、ササキリの仲間、エンマコオロギ、エンマコオロギ(幼虫)、オンブバッタ、ショウリョウバッタ、ツチイナゴ、トノサマバッタ、ハネナガイナゴ、コバネイナゴ、マダラバッタ、アオスジアゲハ、クロヒカゲ、ヒメウラナミジャノメ、キタキチョウ、ツマグロヒョウモン、イチモンジセセリ、コウモリガ、ウンモンチクバ、シモフリスズメ(幼虫)、メイガの仲間、シャクガの仲間(幼虫)、ノコギリクワガタ、センチコガネ、モリチャバネゴキブリ、クモヘリカメムシ、セアカヒラタゴミムシ (その他3種) ニホンアカガエル、トノサマガエル、ヌマガエル



9月下旬というのに猛暑の中での例会となりましたが、たくさん子ども達が暑さにもめげず、虫あみや虫かごを持って集まりました。

始まりの会が終わると早速子ども達は思い思いに虫あみを振りまわして虫取りに熱中。捕まえたトンボやチョウ、バッタを手「捕まえました。これ何ですか?」と指導員に名前を覚えてもらい、机の上の虫はどんどん増えて34種類に。最後は指導員から「採集された主な種類」や「バッタの不思議な生態」などの説明を聞いて、9月例会は無事に終了しました。

豊かな自然に恵まれ多種多様の虫が棲息する立田山をいついつまでも大切にしましょう。